

時の視点

禁忌品について

広報部副部長 脇 克美

古紙の品質基準について、特に禁忌品の分野についての解説をしてみたいと思います。禁忌品にはA類とB類とがあることはご存知の事と思いますが、製紙メーカーより製品トラブルが多く寄せられている物を紹介していきます。

☆昇華転写紙(捺染紙、アイロンプリント紙)

古紙に混入すると、洗浄・漂白しても染料を取り除くことができないため、板紙の中間層の原料に用いたとしても、製品の出荷時点では、不良品かどうかの判断がつかない。しかし、印刷時に昇華性の染料が溶剤に反応したり、又は、経事変化(1～数ヶ月)でインキが常温で昇華し続け、紙の表面に赤、青、黄色などの色付斑点(アジサイ模様)が浮き出てきて大きな品質トラブルになります。既に店頭で並んだ製品の回収・損害賠償を求められます。

ちなみにA4サイズ1枚分の混入で約100トンの損紙が出るそうです。

☆感熱性発泡紙

感熱性発泡紙(立体コピー)は、ベースとなる紙の上に感熱性発泡カプセルを塗布したものです。その製品使用例としては、以下のようなものがあります。

- ・点字用コピー
- ・中吊りポスター
- ・寄せ書き、魚拓、手形
- ・バースデーカード
- ・ダイレクトメール
- ・飲食店のメニュー
- ・案内状、挨拶状
- ・カタログ、見本

感熱性発泡紙が混入した製紙原料を原料処理段階のパルパーで離解すると、発泡カプセルが紙料中に分散します。この分散したカプセルは細かいため、原料処理工程のスクリーン等で除去することはできません。紙に抄きこまれたカプセルは、抄紙機のドライヤーで乾燥中に加熱され再発泡し紙層中で膨らみ、紙面に凸凹が出ます。凸凹ができた製品は、大量に損紙処分しなくてはなりません。

☆臭いのついた紙、芳香紙(石鹼の個別包装紙、紙製の洗剤容器など)

石鹼、化粧品、線香、蚊取り線香、芳香紙、薬品、香料などの強い臭いがしみついた紙は、古紙処理工程で完全に脱臭することができないため、製品となった紙に異臭が残り、不良品となります。とくに、飲料や食品を入れる段ボール箱・紙箱に臭いが付いていると、商品に臭いが移ってしまうなどのトラブルになります。

☆感熱紙(ファックス用紙、レシートなど)

抄紙工程のドライヤーパートで熱に反応し、チリや斑点状になり損紙を発生させる。

以上、代表的な品種を紹介しましたが、禁忌品には他にも製紙原料として不適当な物がいろいろあります。我々、製紙原料を業とする者は特に気を配ってゆきたいものです。

最後になりましたが、この原稿を執筆するにあたり公財団法人古紙再生促進センターの辻久典様、吉田和正様ご両名様には詳細な説明をして頂き、多数の資料、サンプルをご用意頂きました。この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

*参考資料

古紙再生促進センター発行

「古紙の品質を守るために異物混入の現状と対策」

時の話題

第9回 合同新年会

広報部副部長 伊藤 滋

前日に降った雪の天気を引き継いだかのような冷たい小雨の中、上野駅から背中を丸めて足早に歩く。向かったその先は上野「精養軒」。1月21日午後6時より東京都製紙原料協同組合、第9回合同新年会が開催されました。

足立支部 赤松支部長の司会によって開会宣言がなされ、近藤理事長による昨年を振り返り今年を占う挨拶となりました。



ついで当組合顧問であり、国家公安委員会委員長、内閣府特命担当大臣（消費者および食品安全）および拉致問題担当大臣 松原仁様（公務により秘書代理出席）をはじめ、経済産業省製造産業局紙業服飾品課課長 坂本敏幸様、東京都産業労働局 商工部経営支援課課長 山田利郎様、(公)古紙再生促進センター専務理事 木村重則様など、日頃お世話いただいているたくさんのご来賓のご出席とご挨拶を賜りました。



衆議院議員 松原 仁 様
（公務により秘書代理出席）



経済産業省製造産業局紙業服飾品課
課長 坂本 敏幸 様



東京都産業労働局商工部経営支援課
課長 山田 利郎 様



(公)古紙再生促進センター
専務理事 木村 重則 様

来賓紹介のあと、全国製紙原料商工組合連合会理事長 栗原正雄様による乾杯のご発声を頂き祝宴が開始されました。



全国製紙原料商工組合連合会
理事長 栗原 正雄 様

合同新年会らしく、ご出席の皆様は各支部の垣根を越えて、席を移動されながら歓談されている様子を多く見ることができました。アトラクションでは目に美しい日本舞踊が披露され、続く青年部の進行による支部対抗カラオケ大会が会場を大いに盛り上げ、新しい年に活力をもたらしてくれるようなパーティーとなりました。



楽しい酒宴も終焉の時間が近づき中締めとなります。関東製紙原料商工組合理事長 大久保信隆様にご挨拶を頂戴し、荒川支部 藤井支部長による閉会の辞によって盛大なる新年会は終了いたしました。



最後に、今回の新年会開催に当たりご尽力いただきました皆様に、この場をお借りして感謝と御礼を申し上げます。

東京返本加工協同組合 新年会開催

事務局

平成24年2月1日(水) 上野・東天紅 8階『ザ・ルーキス』の間に於いて東京返本加工協同組合 新年会が開催されました。

当日は、東京都製紙原料協同組合、日本出版販売株式会社、栗田出版販売株式会社、株式会社大洋社の幹部の方々、日頃業務及び様々な面でお世話になっている皆様方、組合員・職員合わせ総勢55名の方々にご出席いただき、盛大に開催されました。



式の冒頭、主催者側を代表し 工藤理事長が挨拶にたち、東日本大震災等大変であった昨年の4月～12月までの発生業量の状況、辰年にちなんだ話の中で、われわれを取り巻く環境が厳しくなる中で組合員及びご出席の皆様への更なるご協力依頼の言葉を述べられました。

続いてご来賓を代表しまして、日本出版販売株式会社 専務取締役 平林 彰様より東日本大震災を振り返り、日販グループ3000名の社員が被災書店の復興に向けての作業を行ったお話と、被災品処理をTOMが協力して下さったとの感謝の意が述べられました。

出版共同流通株式会社 代表取締役社長 高見吉弘様の乾杯のご発生により、懇親会がスタートし、宴中、司会者よりご来賓の方々の紹介がされ、各社代表者よりお言葉をいただき、TOM恒例の初参加者の自己紹介をかねたカラオケ会では、6名の方々に自慢の喉を披露していただきました。



立食形式の各テーブルでは、大きな輪がいくつもでき笑い声が絶えない中、齋藤副理事長の中締め挨拶をもって19時40分散会となりました。

お忙しい中、懇親会にご出席をたまわりました皆様、誠にありがとうございました。

皆様のご協力に感謝申し上げます



集荷部新年会を開催

集荷部部長 宮崎 勝保

平成24年2月18日(土)すし処「貴之」にて集荷部の新年会を行いました。

参加者は、20名のうち来賓が6名でした。

清水副理事長の挨拶、続いて赤染直納部長の挨拶を頂きました。ご両人からは、今回の「家庭紙の

古紙原料価格」についての話がありました。少し遅れて参加した理事長の挨拶のあと、松井副理事長の乾杯で宴会が始まりました。

組合から今回の古紙価格変動についての説明文を作ってもらい、古紙仕入先への説明に活用しているという報告がありました。

懇親会の中でも今回の古紙原料価格についての話題が随所で話されていました。

昨年と今年は集荷の参加者が多く賑やかな新年会で幕を終えました。

上物古紙の価格について

すでに各支部から送付されていて、お手元には届いていると思いますが、今回の上物古紙の価格について、組合では次のような文章を作成しました。古紙仕入先への説明にお役立てください。

.....

(以下原文)

平成24年2月16日付

古紙仕入先様 各位

東京都製紙原料協同組合

理事長 近藤 勝

上物古紙の価格について

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃は古紙取引に関しまして、大変お世話になり誠に有難う御座います。

さてご案内のように上物古紙は主に家庭紙メーカーの製紙原料として使用されておりますが、その家庭紙メーカーから仕入価格の値下げ通知が古紙業界にございました。製品価格が低迷し、一方で動力用電気料金および燃料代の値上げに直面して企業の存亡が問われているからです。

東日本大震災が起きてから、トイレット・ロールとティッシュは生活必需品として行政指導もあ

り、消費者に品不足が起きないように、メーカー、古紙業者ともども供給責任を果たして参りました。その過程でスーパーなど販売業界の一部が製品輸入を実施し、もともと家庭紙メーカーは過剰設備を抱えている事もあり、需要と供給のバランスが崩れ製品価格が低迷してしまいました。

景気動向および消費動向から出版物の減少およびチラシ・ポスター等の減少が続き、その結果、製本所、印刷所から出る上物古紙や、オフィス古紙の発生が減少しています。

リーマン・ショックの時も突然の需要と供給の変化で大きな価格変動があり、相場が下がりましたが、その後、安定して相場は上がりました。

しかし今回は様相を異にして、従来ですと上物古紙の発生が減少すれば価格が上昇するのが常識ですが、今回は逆の事態に陥っています。

以上の諸事情をご理解いただき、家庭紙メーカーへの納入価格が下がる中、その一部に関しご協力を頂きたい、お願い申し上げます。

敬 具

*この件についてのお問い合わせは、各支部長又は組合事務局までご連絡ください。

全原連の新年会及び懇親ゴルフ会

広 報 部

恒例の全原連の新年会が、去る1月30日(月)に浅草ビューホテルに於いて開催された。

全国から多数の役員が参加し、来賓として甘利明議員、田中美絵子議員、河村たかし名古屋市長、坂本敏幸経産省課長などのご挨拶を頂いた。座席は特に決めてなかったので食事を楽しみながら、自由に交流をする事が出来た。

翌日の懇親ゴルフは、近代化促進事業部の主催により、参加者40名で太平洋クラブ成田コースにて開催した。かなり寒い日でしたが、好天に恵まれ全国の腕自慢によるレベルの高いコンペであった。優勝は靖国紙料の竹内靖記氏でした。

富士貨協の荷主懇談会に参加

事業部長 坂田 智

平成24年2月3日富士のホテルグランド富士で行われました富士貨協の荷主懇談会に事業部長の坂田と高橋副部長が出席致しました。

懇談会の前に行われた講演会は、ひげの隊長でおなじみの佐藤正久参議院議員の講演があり、今回の東日本大震災における自衛隊の献身的な活躍をいろいろな場面で話して頂きました。

例えば、大勢の亡くなった方の遺体収容も自衛隊の方の仕事でした。あまりにも多くの遺体の搬送に担架も足りず、背中に背負って運ぶこともたくさんあったと聞いていたそうです。その際、2着しか支給されていない服に血や死臭の匂いがこびりつくと、まだ何回もやらなければならないので、着替えもせず、臭い取りのスプレーをして何回も仕事をしたそうです。

また震災への長期任務に赴く際に家を離れる時、奥さんが当然ながら「無理をしないでね」と云うとその隊員は、こう答えたそうです。「今、無理をしないでいつ無理をするんだ」隊員たちも決死の覚悟だったのだと思います。

本当に頭の下がる思いです。

そのあとの懇親会は富士市市長さん警察署長さんなどのご挨拶のあと和やかに進みました。私たちは岡島理事長さんたちに大変歓待されお楽しみ抽選会では私も高橋さんも当選しました。料理も大変美味しく素晴らしい会に出席させて頂きました。

途中で三弘紙業の上田社長と役員の方も加わり帰りの新幹線でも和気あいあいと帰路へ就きました。

「5年後の古紙業界を考える」

シンポジウムレポート

広 報 部

去る2月21日(火) 関東商組主催の上記シンポジウムがホテルラングウッドにて開催された。300名を超える参加者が全国各地から集まり盛況であった。

第1部では、古紙再生促進センター前専務理事である鈴木節夫氏から、基調講演「古紙の余剰時代からこれまでの歩み」と題して、昭和49年の第一次石油ショックから今日までの古紙相場について、図表や数字を使った分かりやすい説明があった。

昭和49年に第一次石油ショックが起これ古紙の相場も急騰したが、すぐに暴落。大量の古紙が余り、古紙センターの主導でメーカーの協力を得て15万トンもの古紙を備蓄して需給調整に当たった。

昭和50年には第二次石油ショックが起これ、同様の対策を取った。昭和49年当時はまだ回収率が39%位であったが利用率も37%位と低く、その後も回収率が常に使用率を上回っていった為、慢性的に古紙余剰が続いた。

特に昭和60年以降、次第に補助金を出す自治体が多くなるに従い、古紙回収量は相場に関わらず増える事となり実に15年の長きにわたり、平成13年まで古紙相場は低迷した。古紙相場が復調したのは平成13年から増え始めた輸出による。翌年の平成14年後半から古紙価格は上がっているが、それでもリーマンショック前の高い価格と言えども、25年前の古紙価格を上回ってはいな

い。

古紙は一般の商品とは異なり、通常の意味での経済活動としての単純な需要供給により取引されている商品ではない。多くの市民のボランティア活動により支えられている。古紙流通は都市ごみ減量対策であり、大きくは環境問題でもある。

それは法令でも裏付けられ、平成3年にリサイクル法、平成7年に容り法、平成12年に3R法、グリーン購入法が制定されている事からも明らかである。



第2部はパネル・ディスカッション形式で意見交換が行われました。

パネラーは、古紙再生促進センター関東地区委員長岡村氏、(株)JOP取締役会長早速氏、(社)鉄リサイクル工業会元理事高橋氏、(株)寺松商店専務寺松氏、栗原紙材(株)部長栗原氏、それにコーディネイターとして(株)梶谷商事社長梶野氏。

最初に(株)JOP 早速氏により、中国を中心とした古紙輸出の現状説明があった。米国、欧州に比較して、地政学的に日本の位置は有利なのだから、それを生かしながら高品質な古紙を供給する事に努めたら他国との競争に勝てると言われた。一方で輸出古紙の一部に品質の低下が散見されると指摘があった。

関東地区委員長岡村氏からは、メーカーの立場として紙製品の品質に対する消費者からの要求はますます厳しく、一方で禁忌品事故が多発しているので製紙原料としての古紙品質について一層の

厳しい管理が求められた。また安定的且つ再生可能な価格の実現には、備蓄ヤードの構築により古紙発生量と使用量のバランスを取る必要があり、備蓄ヤードの整備と各工場間の在庫調整に努めている、との話があった。また回収雑誌、残本の品種を更に区分けする事で、少しでも付加価値を付けた利用を考えたいとの話があった。

国内の在庫能力はメーカー合計で30万トン、古紙問屋が38万トンで合計68万トンあると言われている。しかしそれは輸出量から考えると2ヶ月弱しかなく、輸出が2ヶ月止まればそれ以上古紙受入れは不可能と言う事である。

(社)鉄リサイクル工業会元理事高橋氏からは、鉄リサイクル業界の構造的な問題について話があった。過去2000社あった企業数が、廃業、協業化で15年前には半数1000社まで減ったそうだ。現在は1200社位まで戻っているが、それには一定の品質を維持する事が大切で、自己犠牲の精神も必要と話していた。

栗原紙材(株)栗原氏からは、コンプライアンスの徹底と国際競争力の強化の為、「古紙商品化適格事業所」認定と「J-BRAND」の確立、および人材育成として「古紙リサイクルアドバイザー」資格の普及について話があった。また縮小する古紙市場で古紙問屋の利益なき過当競争が起こる背景と限界、その対応について示唆があった。

(株)寺松商店寺松氏からは、現状を打破するには、視点を変えて国内・海外市場の見直し、古紙排出元として機密文書など更に市場開拓をする事、古紙以外の他資源物の取込み、古紙原料の販売先を製紙メーカーに限らず開拓する事などの必要性が話された。

シンポジウム終了後は、別室で立食パーティーが開催され、行政、メーカー、古紙業者、マスコミ等、多くの参加者が自由に交流して、盛んに意見交換が行われた。

古紙リサイクルアドバイザー更新試験

広報部

全原連で行っている古紙リサイクルアドバイザー更新の受講試験を東京協組でも実施致しました。会場は、JR神田駅前のエッサム神田ホールで受講試験日及び受験者数は次の通りでした。

第1回目：平成24年1月26日(木)60名

第2回目：平成24年2月21日(火)46名

2回の合計で106名が受講試験を受けられました。



支部便り

江墨支部新年会開催

江墨支部長 松井 隆宏

江墨支部新年会を2月20日に開催致しました。永年お世話になった吉野寿司が1月末日をもって閉店になり、今回は石橋副部長の地元である向島料亭街にある「島岡」で行いました。

料理がとても美味しく、年一度の参加となるご婦人方も満足だったようです。又、ご婦人方には恒例のお年玉を差し上げました。

時代の流れか、集荷も色々な問題点が多く今回は前集荷部長の坂田顧問と宮崎集荷部長に出席して頂きました。

コンパニオンも5名入り楽しく過ごし、8時半にお開きとなりました。

城南支部新年会に参加して

城南支部 高嶺 直樹

2月4日(土)～5日(日)の両日、城南支部新年会が山梨県の石和温泉 華やぎの章『慶山』にて催されました。

私は今回初めて参加させていただきましたが、皆さんがとても暖かく迎えてくださったことのお礼を真っ先に申し上げます。

新宿駅から『かいじ111号』に乗り、車中では前宴会のように盃を交わし楽しく語り合い、あっという間の1時間半でした。

石和温泉駅から旅館の送迎バスは約3分で宿に到着しました。宿ではゆったりと温泉につかり、肌がスベスベとしてとても気持ちよく入れ、車中でのお酒もすっかり抜け、お腹の準備も出来たところで新年会の会場へと移りました。

坂田支部長の新年のご挨拶、共益商会の赤染社長のご乾杯のご発声から始まり豪華な料理と美味しいお酒をいただき、1次会・2次会と夜が更けるのも忘れるほどでした。



翌日はワイン工場見学と生ワインのボトル詰め体験・オリジナルラベル作り!! 工場見学では、皆さん夢中でワイン作りの工程に聞き入っていま

した。生ワインのボトル詰め体験では皆さん感動と興奮が入り混じり、真剣に取り組み、オリジナルラベル作りではクレヨンを使い子供時代を思い出して色塗りし、楽しく作れました。試飲では色々なワインが飲め、皆さん自分好みのワインを買っていました。

昼食は、甲州名物の『ほうとう』やB級グルメの数々を堪能し、皆様のご好意により恒例の『クジ引き』などを楽しみ帰路につきました。

最後になりましたが、幹事を務めていただいた井出紙業(株)の井出様、(株)中田の中田様に感謝申し上げます。

参加者の皆様のおかげで楽しい時を過ごす事が出来ましたことを御礼申し上げます。城南支部の皆様のご発展とご健勝をお祈り申し上げ、報告とさせていただきます。

荒川支部新年会開催

荒川支部長 藤井 康夫

1月7日(土)午後6時より根岸のうなぎ「宮川」にて荒川支部新年会を開催致しました。

16名の支部員に出席していただきました。支部員一同おいしい料理を頂きながら、会話に盛り上がり、皆さん和やかに2時間程、宴会が続きお開きとなりました。



組合員紹介

広報誌では、組合員の方を毎号1～2名下記の要項で順次、ご紹介しております。

[足立支部]

(株)赤松商店 タナカ ジュンイチ
田中 淳一



年齢 : 40代

血液型 : O型

体型 : 大柄

似ている人、

又は動物にたとえたら : ゴリラ

業界歴 : 10年位

何代目 : 3代目

他業界歴 : 10年

業種 : 眼鏡屋、眼科

趣味 : ゴルフ、柔道

特技 : パソコン

資格 : 眼科メデカル、フォークリフト

免許 : 大型運転免許、大型特種免許

好きなスポーツ : ゴルフ

// 俳優 : エディ・マーフィー

// 歌手 : 桑田佳祐、コブクロ

Mr.Children

// 言葉 : 我以外、皆我師也

// 食べ物 : 肉

嫌いな食べ物 : 生もの

飲酒 : 飲む(何でも)

タバコ : 吸わない

好きな物 : 車、熱帯魚

お薦めの店 : やまぐちさん(青戸)

お勧めの場所 : ディズニーランド

自分の性格 : せっかち、短気

[古紙業界に入って思う事]

①気を付けている事 :

- ・環境に出来るだけ配慮するようにしている
- ・事故が起きないように指導している

②大切にしている事 : コミュニケーション

③業界に入って良かった事 : 色んな方と出会い
人脈が広がった

④仕事上で組合員同士のネットワークに興味がありますか? : ある

[足立支部]

近藤紙業 コンドウ トシカズ
近藤 利一



年齢 : 46歳

血液型 : O型

体型 : デブ

業界歴 : 18年

何代目 : 2代目

他業界歴 : 10年

業種 : 印刷紙器営業

趣味 : 旅行、車

免許 : 普通自動車免許、フォークリフト免許

好きな歌手 : KARA

好きな学科 : 数学

飲酒 : ビール

タバコ : 吸う(バージニアンスリム)

お薦めの店 : 宗助(五反野)

お薦めの場所： 能登半島（珠洲市、能登島）

自分の性格：短気、アバウト

[古紙業界に入って思う事]

- ①気を付けている事：顧客
- ②大切にしている事：顧客
- ③業界に入って良かった事：気楽(大きなクレームがない)
- ④仕事上で組合員同士のネットワークに興味がありますか?：ある

[山手支部]

宇都木商店 ウツギ 宇都木 マサキ 昌樹



年 齢 : 39歳
 血液型 : A型
 体 型 : 大柄
 業界歴 : 20年
 何代目 : 2代目
 他業界歴: 2年
 業 種 : 運送業
 趣 味 : 釣り
 好きなスポーツ: サッカー
 嫌いな食べ物 : 寒天
 飲 酒 : 飲む
 タバコ : 吸う
 いつか行きたい場所: 月面
 自分の性格 : アバウト
 [古紙業界に入って思う事]
 業界に入って悪かった事: 腰痛

♪ことわざミニ知識♪

「蛙（かえる）の子は蛙」

なにごととも子は親に似るものだということ。子は親の進んだ道を歩むものだ。また凡人の子はやはり凡人だと言うときにも使う。

誉め言葉としてではなく、けなす言葉として使うことが多いので、自分の子を謙遜して言うのは問題ないが、他人の子には使わない方が無難。

類語に「瓜（うり）の蔓（つる）に茄子（なす）はならぬ」、「親が親なら子も子」がある。

子供の出来がいい時は「鳶が（とんび）が鷹を生む」と言うが、いずれも使い方は難しい。

支部スケジュール

千代田支部

- 支部会 4月 5日（木）菜の家
- 評議会・総会 4月 5日（木）庄 司
- 支部会 5月 9日（水）菜の家
- 支部会 6月 6日（水）菜の家

中央支部

- 支部会 4月 7日（土）きくち
- 支部会 6月 9日（土）入船

文京支部

- 総 会 4月 8日（日）～9日（月）
鬼怒川ホテル「三日月」
- 支部会 5月 8日（火）場所未定
- 支部会 6月 8日（金）場所未定

台東支部

- 総 会 5月中旬 場所と日にちは未定

荒川支部

総会 4月14日(土) 梅川亭

足立支部

支部会 4月7日(土) 北千住

総会とゴルフコンペ

5月13日(日)～14日(月) 場所未定

山手支部

総会 4月21日(土) 鯨やなぎ

支部会 5月19日(土) 鯨やなぎ

*理事長及び辻 城北支部長訪問予定

支部会 6月19日(火) 鯨やなぎ

城南支部

総会 5月19日(土) 場所未定

江墨支部

支部会と総会

4月21日(土) 22日(日) 石和温泉

支部会 5月23日(水) 場所未定

支部会 6月20日(水) 場所未定

*理事長及び小森 中央支部長訪問予定

城北支部

総会 4月14日(土) 熱海・古屋旅館

支部会 5月11日(金) 場所未定

支部会 6月8日(金) 場所未定

◎第56回 通常総会**第50回 永年勤続従業員表彰**

期日:平成24年5月21日(月)

場所:上野精養軒

時間:午後4時00分より

お 知 ら せ**[4月会議・催事予定]**

4月3日(火) 共販輸出検討委員会(pm2:00～)

〃 常任理事会(pm2:30)

理事会(pm4:00～)

組合会議室

4月13日(金) 会計監査(pm3:30～)組合会議室

(監事、会計理事、正副理事長、総務部長、事務局)

4月19日(木) 古紙センター関東地区委員会

(pm2:00～)センター会議室

〃 清風会ゴルフコンペ

4月26日(木) 古紙センター業務委員会(pm1:30～)

〃 全原連役員会(pm2:45～)

センター会議室

[古紙品質調査事業] 平成24年1月～3月価格

[新聞 古紙] 16,000円/トン

[段ボール 古紙] 18,000円/トン

[古紙価格]**[東資協の古紙4品の標準売値]**

平成24年2月8日現在

新聞 9円～11円(横ばい)

雑誌 7円～9円(横ばい)

段ボール 9円～11円(横ばい)

色上(並) 7円～9円(横ばい)

[訃報]

・台東支部:(有)野村商店 代表者 野村宮三郎様(享年88)が平成24年1月29日(日)にご逝去されました。

・荒川支部:(株)漆原商店(代表者 漆原 朗様)のご母堂 漆原和子様(享年79)が平成24年2月26日にご逝去されました。

【代表者変更】

台東支部：(有)野村商店 代表者 野村宮三郎 様
→ 新代表者 代表取締役 野村 京子 様

会議概要 [1月・2月]**1 月度定例理事会**

[平成24年1月11日(水)] pm 4:00

出席理事25名・監事2名 於) 組合事務局

近藤理事長挨拶

新年あけましておめでとうございます。昨年は東日本大震災に始まり、予期しない災害や経済不安が多く大変な一年間でした。その中でも当組合としては、各支部を通し組合員から直接義援金を集め100万円を寄付することが出来ました。ご協力ありがとうございました。

先日、福島の業者さんに最近の様子を聞きましたところ、放射能汚染区域に近い福島県では若い人がいなくなってしまう、保育園や塾、イーオン、ノバと言った語学学校も軒並み閉鎖、小中学校も生徒数が激減してしまって年寄りしかいない状況だそうです。しかし、それ以外の地域では被災した宮城県、岩手県の沿岸地域といったところでは復興景気に沸いているそうです。一日も早く復興して欲しいものです。

昨年未だに組合員減少等による収入減から予算の見直しを行いました。本年は他組合との交流を進めると同時に収入に繋がる組合事業に力を入れていきたいと思えます。又、組合広報のご挨拶にも書きましたが、現在、清風会で行っている勉強会を、それとは別に組合員全体会として、たとえば合同新年会や総会の前に一般の組合員や青年部も聞ける事の出来る講演会を出来たら開催したいと考えています。

最後に私事となりますが、昨年末、都市近代化事業協同組合に来社してもらい、自動車共済保険の説明を受けました。今年10月の切換え時に、とりあえず半分を移す事に致しました。各組合員の方々も1台でも2台でもいいと言っていましたので、組合収入のためにも是非、検討して頂きますようよろしくお願い致します。

【各部報告】**【総務部】**

2階(株)研立は平成23年12月末日にて賃貸借契約を解除。空き室は、不動産屋及びインターネットで募集を開始した。

【直納部】

1月度の共販輸出は3社が入札に参加しました。入札の結果は、前月と同様の価格で(株)ジーオーピーが落札となりました。尚、落札価格が国内価格より下回っているため組合で助成金として1円の補填を致します。仕向地は韓国、中国で、市況の冷え込みは引続きで、前月と状況はほぼ同じです。他の輸出業者で仕向け地が中国の業者によると市況は、為替は77円後半で安定しているが古紙相場は下降気味。年始は旧正月の影響により動きが鈍化し、価格は更に下落すると推測する。国内の市況は、段ボールが、やや一時の停滞期を抜けて来たが苦戦している。メーカーはかなりの減産をして、古紙を大幅にカットしてきている。原料問屋は古紙を備蓄か輸出に廻して対応している。12月に積んだ在庫があり1月もさらに増えるのではないかとと思われる。輸出は、年明け若干、上がってきており緩やかに底値を打つのではと思われる。

【品目別市況】

【段ボール】 12月の発生は少なかった。前年とは違い回収のピークがハッキリしなかった。製紙メーカーは12月の28日頃にマシンを止め、1月6日頃からスタートしている。各ヤードの古紙

在庫量は、かなり積み上がってきている。1月は古紙の発生は減る月である。

[家庭紙] 製品の価格修正は期待できずに終わりそうである。製品価格はメーカーと小売業者との思惑が食い違い、むしろ古紙の下げが心配される。古紙原料の発生が悪いわりには、メーカーでは不足感を持っていない。先行き不透明な市況となってきた。

[オフィス古紙] 12月の発生は前年よりは増えている。最近の発生は年間を通して分散してきている。

[上台紙] 発生は悪く、価格も変化ない。

[返本] 発生が少ない

[集荷部]

発生は悪い。昨年と比較しても変わらない。

[広報部]

広報は新年号の準備をしている最中である。内容は「時の視点」で正副理事長の年頭の挨拶、ゴルフ(清風会、関東商組との対抗戦)、直納部・青年部の忘年会、各支部開催の忘年会、組合の予算案、古紙リサイクルアドバイザーの講習試験案内等を掲載予定である。1月25日頃には発送する予定である。広報誌の作成は、今年から5月号(総会号)と7月号を合併させ年5回とする。

[事業部]

合同新年会を平成24年1月21日(土)に上野・精養軒で開催するので準備中である。

以前よりお願いをしていた自動車共済保険に(有)坂田亮作商店が加入。美濃紙業(株)も見積もりを取り、秋から使用車の半分を加入予定。なるべく多くの組合員が加入してくれるよう引き続きお願いする。

[青年部]

青年部の忘年会を12月15日(木)に上野で26名が集まり開催した。組合のゴルフコンペを7月1日(日)に開催予定で準備中である。

[近代化推進委員会]

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーの講習試験を1月26日(木)と2月21日(火)の午後6時10分から、エッサム神田の貸しホールで実施する。当日の立会人は、高山総務部長と上田総務副部長と事務局2名(夏目、濱谷)が担当する。

[その他]

・東京都紙器工業協同組合との懇談会を3月に開催する予定。日時は検討中で、会場は当組合の会議室で行う。集荷関係の理事を中心に参加を募る予定である。

古紙センター関東地区委員会

[平成24年1月23日(月)] pm 2:00～
於)古紙センター会議室

[需要動向] 11/12月 単位トン、
()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組32社実績]

[新聞]	仕入	76,812(99.0%)
	出荷	73,822(102.1%)
	在庫	14,179(19.2%)
[雑誌]	仕入	59,326(100.8%)
	出荷	52,882(100.2%)
	在庫	13,044(24.7%)
[段ボール]	仕入	134,146(93.0%)
	出荷	121,788(90.6%)
	在庫	23,043(18.9%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	220,051(94.8%)
	消費	199,824(90.1%)
	在庫	180,440(90.3%)

[雑誌]	入荷	111,119(99.0%)
	消費	104,033(95.9%)
	在庫	62,232(59.8%)
[段ボール]	入荷	303,609(104.1%)
	消費	283,753(101.8%)
	在庫	119,467(42.1%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌・段ボール]

12月の発生で新聞は、本文・チラシとも昨年対比で戻ってきている。1月に入り新聞、雑誌とも発生が非常に良くない。

大手2社の年末から年始にかけての雑誌売上は、昨年とくらべ8～9%ダウンし売れ行きが悪い。段ボールの発生も昨年と比べて12月は少なめである。昨年1年間の中国への輸出は予想以上に良かった。

[上物古紙]

産業古紙の発生状況は、12月、1月に入っても発生は少なく、今月の15日過ぎから少し動きだしたようである。家庭紙向け古紙の発生は少ないが、メーカー在庫は若干、増えている。西日本では家庭紙古紙の価格が下がってきているようである。

[メーカー側コメント]

12月、1月のメーカーへの入荷は堅調に推移している。在庫は安定レベルで積み上がり11月末に比べると10%上昇。

新聞用紙、チラシは戻ってきている。東北に関しても、やや戻ってきたようである。新聞古紙については底を打ち始めたように思われる。

段ボールは昨年と比べ横ばいで推移している。青果物関係や宅配関係は良好だが、電気製品関係や飲料関係は悪い。古紙の発注量は大きく変わらない。12月は各社ともにスペースに在庫した。

古紙センター業務委員会

[平成24年1月30日(月)] pm1:30～

於) 古紙センター会議室

[1] 集団回収実施団体への感謝状交付について
(近畿地区委員会・中・四国委員会推薦)

[2] 中国古紙リサイクル事情調査について

[3] 古紙の需要・市況動向について

*ページ数の関係で割愛させていただきます。

2月度定例理事会

[平成24年2月6日(月)] pm4:00

出席理事24名・監事0名 於) 組合事務局

近藤理事長挨拶

先日開催されました合同新年会には例年の事ながら皆様方のご協力により、和やかに盛大に開催できました事をこの場をお借りしてお礼申し上げます。既に新年のご挨拶や広報誌のご挨拶でも申し上げましたが、本年は組合員のメリットとなる組合事業をもっと広める事に力を入れたいと思っております。ガソリンカードやETCカードなど聞いてみると意外と入っていない組合員が大勢います。組合員各社がメリットのために少しでも割引制度を活用してもらおうよう、支部の活性化と共に組合事業の充実に取り組んでいきたいと思っております。又、此処へきて家庭紙原料の価格問題も発生しております。後ほど直納部報告で詳しく状況説明があると思いますが、本日も充実した情報交換が出来ますようお願いいたしましてご挨拶いたします。

[各部報告]

[総務部]

組合会館2階の空き室の現状回復の工事に約34万円の費用が必要だが、預かり保証金より2ヶ月分償却の21万円が戻ってくる。

【直納部】

2月度の共販輸出は3社が入札に参加しました。入札の結果は、国内より1円上回る価格で(株)松本光春商店が落札となりました。仕向地は中国で、市況は為替が円高となっている割に古紙相場は安定している。2月の国内発生状況と中国の生産状況から今後の価格は、やや下落すると推測している。海外市況はヨーロッパ、アメリカの古紙の発生が悪い。中国メーカーは古紙在庫を十分持っているので高い物は買わない。パルプが下落し上物の輸出は弱含みである。

国内の板紙メーカーは古紙の納入を12月比、1月比でカットしてきている。

【品目別市況】

【家庭紙】 各家庭紙メーカーは、2月中旬に古紙原料について2円価格調整を通告してきた。一方で家庭紙メーカーは、3月中旬に製品価格の修正を期待している。この時期に何故、古紙の価格調整をするのか疑問視される。現在、古紙の発生はタイトであるにもかかわらず家庭紙メーカーには古紙原料が順調に入り古紙の受け入れに余裕があるのは何故なのか。理由としては、古紙の国際相場が厳しく輸出が難しい事と製品の輸入シェアが大きくなり家庭紙メーカーの操業が落ちているからである。

【集荷部】

発生が落ちている。古紙原料価格の調整は集荷にとって大きな負担となる。古紙全品が弱含みで先が不透明なのが怖い。古紙価格の安定を期待したい。

【広報部】

広報の新年号は1月の下旬にお届けした。先日、広報委員会を開催し3月号の掲載内容について検

討をした。「時の視点」では、現在、多く発生している禁忌品によるトラブル(感熱性発泡紙、芳香臭)について、古紙センターに取材し記事を作成する予定。「時の話題」は合同新年会、TOM新年会、各支部開催の新年会を掲載予定。「支部だより」では、「組合員紹介」が9支部終了し残り1支部のみとなったので2周目に近々入る予定。支部長の他支部訪問について：

支部長が他支部を訪問し、その感想を広報誌に掲載する企画。理事会で賛否を募ったところ、賛成の方向で話を進めていく事になった。スケジュール、同行者、レポートについての詳細は皆さまから意見や希望を提出していただいて決めていく事となった。

【事業部】

合同新年会を無事終了する事が出来た。理事、その他の皆さまの協力に対して感謝している。先日、富士貨協の新年会に坂田部長、高橋副部長とで参加し歓迎を受けた。近代化推進事業協同組合が行っている関東自動車共済保険の加入について引続きのお願いと、パンフレットが数部あるので支部に持ち帰り説明用に使用してほしい。

【青年部】

3月に長野のリサイクル回収業者との会合を東京で予定しており、それに向けて2月に幹事会を開く予定である。

【近代化推進委員会】

経営革新委員会：古紙リサイクルアドバイザーの講習試験を1月26日(木)に実施した。予想していたより問題が難しかったようで時間一杯かかった人が何人かいた。次回は、2月21日(火)の午後6時10分からエッサム神田の貸しホールで実施する。当日の立会人は、第1回目と同様、

高山総務部長と上田総務副部長と事務局2名（夏目、濱谷）が担当する。

I T推進委員会：1月の委員会議事録を資料に入れてあるので参照してほしい。

[その他]

東京都紙器工業協同組合との懇談会を3月28日（水）に開催。会場は当組合の会議室で行う。集荷関係の理事を中心に参加を募る予定である。

古紙センター関東地区委員会

[平成24年2月23日（木）] pm2:00～
於）古紙センター会議室

[需要動向] 12 / 1月 単位トン、
() は対前年同月比、在庫の () は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	61,353(95.3%)
	出荷	63,940(95.0%)
	在庫	11,592(18.1%)
[雑誌]	仕入	49,683(98.4%)
	出荷	51,448(95.7%)
	在庫	11,279(21.9%)
[段ボール]	仕入	113,729(98.7%)
	出荷	114,523(93.4%)
	在庫	22,249(19.4%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	202,300(97.4%)
	消費	201,730(88.1%)
	在庫	181,010(89.7%)
[雑誌]	入荷	105,576(97.4%)
	消費	98,678(93.8%)
	在庫	69,130(70.1%)
[段ボール]	入荷	271,737(103.1%)
	消費	245,925(97.1%)
	在庫	145,279(59.1%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌・段ボール]

新聞の23年は、本文のページ数は前年と比べ変化はなかった。チラシは前年に比べ減少したが、今年1月に入り増加してきた。段ボールは消費が悪く在庫が増えている。1月の全体の発生は良くないが前年と比べるとそれほど変わらない。昨年が悪すぎたためだと思われる。輸出ではJミックスの品質評価が下がってきているようである。

[上物古紙]

産業古紙は低調。2月に入り家庭紙向けケント、模造、色上、込頁が各2円の価格調整をされた。

1月末の在庫は家庭紙向けが前月比で減少、前年比で若干の減少。DIP向けは前月比で減少、前年比で増加している。

[メーカー側コメント]

1月のメーカーへの入荷は堅調だが2月に入りペースダウンしている。消費は洋紙の減産によりスローダウン。減産モードが月を追って強まってきている。段ボールはテレビを中心とした家電用品が良くない。昨年の震災の影響で悪かった分は、現在、90%くらい回復してきている。段原紙は年末からの積み増しと減産の影響でまだ在庫が多い状態。

古紙センター業務委員会

[平成24年2月24日（金）] pm1:30～
於）古紙センター会議室

- [1] 平成24年度事業計画（案）について
- [2] 集団回収感謝状交付実施要領の改訂について
- [3] 古紙の需要・市況動向について

* ページ数の関係で割愛させていただきます。

全原連第7回役員会

[平成24年2月24日(金)] pm3:00～
於)古紙センター会議室

(1) 古紙再生促進センター 関係

●業務委員会(1月30日、2月24日開催)

①平成24年度事業計画(案)について

*古紙品質安定対策事業

・古紙開梱組成調査の実施

昨年度まで実施してきた古紙品質調査事業のうち、センターが購入・販売する業務を廃止し、古紙開梱組成調査を中心に実施する。開梱調査の対象品種は、段ボール、新聞、雑誌の3品種とする。

*広報宣伝事業

・紙リサイクル研修会

・紙リサイクルセミナーの開催 (平成24年10月12日予定)

・センター顕彰制度

(集団回収感謝状交付実施要領の改定)

集団回収実施団体への感謝状改定の件、5団体を8団体(関東地区の場合10団体)、年5回以上を4回以上、年間100t以上1回でもOK、同地区内推薦ダブリOK

*調査研究事業

・中国古紙市場基礎調査(中国古紙リサイクル事情調査)

訪中団メンバー：経済産業省(坂本課長、

佐々木係長)日本製紙連合会(海堀部長)

古紙再生促進センター(岡村委員長、木村専務理事)国際経済研修所(松尾顧問)

・古紙ハンドブック2012の作成

*債務保証事業

*古紙余剰緊急対策事業

*古紙回収推進事業(平成20年度～24年度限定事業)

②集団回収実施団体への感謝状交付について

・推薦地区委員会：近畿地区委員会、中・四国地区委員会

・推薦団体：4団体(近畿地区2団体、中・四国地区2団体)1月30日承認

③今後の日程について

平成24年3月16日(金)14:15～15:15

第10回業務委員会(センター会議室)

平成24年4月26日(木)13:30～14:30

第1回業務委員会(センター会議室)

平成24年5月22日(火)14:15～15:15

第2回業務委員会(センター会議室)

(2) 経済産業省 関係

①第3回紙リサイクルシステムの強化に関する調査委員会について

・日時：平成24年2月23日(木)9:30～11:40

・場所：紙パルプ会館会議室

・参加：学識経験者、自治体、製紙メーカー、全原連、日資連、古紙センター、商社

・委員会の設置目的：

「古紙市場安定化に関する調査」を踏まえ、自治体の古紙施策の実態を把握しつつ、古紙需給緩和時や市況の過度な変動への対応策を検討する」

・議題概要：

◎古紙持ち去り問題について

◎特定容器包装に表示される識別マークについて

◎中国視察報告について

◎今後の取り組むべき課題について

②第3回古紙市場安定化検討委員会について

・日時：平成24年2月20日(月)

13:30～14:45

場所：全原連組合会議室

・議事要旨：

◎関係機関への要望事項

<経済産業省>問屋在庫能力拡大に支援、市街化調整区域内に倉庫建設認可

<自治体>アンケート調査ではストック可能との回答（各自治体で可能性調査）

<リサイクルシステム議員懇談会>需給安定化のための議員立法を働きかける

<その他>紙板紙の需要を国内優先、バイオマス化施設整備補助金、古紙センターによる備蓄についてはうまくいかなかった、問屋業界が国民の関係でイニシアティブをとる

(3) 全原連 関係

◎主要課題

① BIR ローマ大会派遣計画について

日程:平成24年5月29日～6月1日(4泊5日)

会場:ローマ・カバリエリ・ホテル

参加人数:5人以内(栗原理事長、小笠原代表) 他各組から3名公募)

②国際古紙会議準備委員会の実行委員会への移行時期について

・全原連需給委員会(1月30日開催)の中で、移行時期について検討した結果、今後1年間を準備委員会として継続し、国際会議の目的・費用・参加者の規模・エリア等を詰めることで承認されました。

③役員選考委員の決定及び役員候補者の推薦依頼について

・役員選考委員及び役員(理事・監事)候補者の推薦枠(11月18日理事会で決定)

・役員候補者名簿提出期限:平成24年3月30日までに事務局へ提出願います

◎審議事項

①「古紙商品化適格事業所」「古紙リサイクルアドバイザー」認定について・・・承認

・古紙商品化適格事業所：

12月15日(3社3事業所)

累計(400社778事業所)

1月15日(2社2事業所)

累計(402社780事業所)

・リサイクルアドバイザー：

12月15日(37社93名)

累計(441社1,938名)

1月15日(37社102名)

累計(443社2,040名)

2月15日(54社149名)

累計(446社2,189名)

(4) 委員会報告

●経営革新委員会(1月30日開催)

・「古紙リサイクルアドバイザー」認定試験(各地区実施状況報告)

・「日本古紙品質認定制度(J-BRAND)」24年度実施スタート

・「5年後の古紙業界シンポジウム」について

日時:平成24年2月21日(火)

15:00～17:00

場所:ホテルラングウッド

(東京都荒川区東日暮里5-50-5)

320名の来場があり、今後もメーカーの若手を入れて実施する予定

●需給委員会(1月30日開催)

・適正仕入価格(適正コスト)標準指標(原価構成比)について再度検討する

・主要課題の中で国際古紙会議について報告済

●IT推進委員会(1月30日開催)

・11月16～17日四国商組(高知市)開催

・東芝情報機器と共通ソフトの拡充について検討する

・製紙原料卸システムの納入実績(86社285カ所)、本年度導入見込(10社54カ所)

● 渉外広報委員会（1月30日開催）

- ・ 各組合のHPの整備充実を審議

(5) その他

① 全国牛乳容器環境協議会による調査協力依頼について

- ・ 211年度紙パックに関する古紙回収事業者・原料問屋様への調査依頼

回収率目標50%（2010年度43.6%）3月中旬以降アンケート調査実施

② リサイクルシステム議員懇談会会長との意見交換会について

- ・ 甘利議員が4月2日に古紙メーカーの工場及び問屋のヤードを見学予定

③ 第4回古紙持ち去り問題意見交換会（1月13日開催）

- ・ 関東商組ではポスターを作成し組合員に配布
- ・ ライセンス制度について具体的に検討（認定制度の活用の仕方等）

- ・ 日資連、東リ協が関東商組で作成したポスターを名称の部分を変えて使用する件について検討（使用条件として著作権は当組合にあることから使用団体名のほか関東商組名を入れること）

- ・ 「名古屋市集団回収における古紙持ち去り防止に関する条例」昨年12月制定され、本年7月より施行されることとなっている。（名古屋市長河村たかし文章）

* 都市近代化事業組合の事業

「ガソリンカードのご利用」について

事業部

組合では、皆様のお仕事に少しでもお役にたてるよう色々な事業に取り組んでおります。

このところガソリン価格が高騰しております。組合では、皆さまがお使いになっているトラックや乗用車のガソリン代を少しでも安く購入できる事業があります。

都市近代化事業組合が行っている事業を通じてガソリンを購入されますと全国平均と比べてハイオク・レギュラーガソリンが約3円、軽油が約9円ほど安く購入できます。（その時の価格変動により大きく値動きがある事がありますが、あらかじめご了承ください）

この他にも、ETCカード利用による高速料金のポイント還元などのお得なサービスもございます。

いずれも東京都製紙原料協同組合に加入されている組合員の特権です。

ご希望、ご質問は組合事務局までご連絡ください。

（連絡先は、広報部からのお知らせと同様です）

広報部からのお知らせ

1. 広報6月号発行（5月号と7月号の合併）について

広報誌は、毎年1月号、2月号、3月号、7月号9月号、11月号と年6回発行しておりましたが、5月の総会の関係で、毎年、5月号の発行が遅れてしまい、実際の発行は6月になっています。

平成24年度より5月号（総会号）と7月号を合併し6月号として発行させていただきます。（年間5回の発行）6月号には、総会内容と暑中見舞い広告が掲載されます。

次回、新しくなりました6月号（6月下旬発行）をご期待ください。